

6年 総合的な学習の時間 年間指導計画

学期	単元名 学習テーマ	流れ	学習活動	時	支援	おもな評価規準	備考
1 学期	今、自分にできること！（福祉） 【26時間】		単元のねらい ・自分を精一杯輝かせて生きている人や、さまざまな仕事に携わる人の生き方や思いを知ることで、「生命」の尊さや素晴らしさについて考えることができる。 ・いろいろな人たちの生き方に触れる中で、自らを高めたり周りの人とのよいかかわり方を考えたりすることができる。				
	「生命」について考えよう	ふれる①	・自分以外の人の生命や生き方、生命に関わる仕事に目を向ける。	1	・生命をより深く考えられる対象に気付かせる	◎生命に対する興味や関心をもつことができる。	
	「生命」に関わる仕事とは		◎生命に関わる仕事に携わっている人について交流する。 ・これまでの学習や本などから自分が知っていることや、生命について考えていることを交流する。	1			
	テーマを決めよう	つかむ③	◎生命について、自分がどのようなテーマで調べていくか決める。 ・自分が知りたいこと、調べたいことを決める。 生命の誕生・生命を育む（助産師、保育士） 生命を救う・助ける（医者、看護師、介護士） 生命を守る（警察官、消防士） 生命の終わり（神父、住職、斎場） 動物の生命（獣医、飼育係、盲導犬）	2	・これまでの学習や生活を振り返りながら交流させる。生命について考えていることや知っていること、調べたいことなどを出し合い、様々な生命に目を向けさせる。	◎自分たちの身のまわりに生命に関わる仕事が多くあることに目を向け、自分が追究したいテーマを決めることができる。（振り返りカード等）	
	事前に調べよう	見通す④	◎障害者や高齢者、生命に関わる仕事やそれに従事している人について、どんな生活や生き方をしているのか、また、仕事と生命の関わりについて調べる。 ・図書室の本 ・インターネット ・新聞記事 ・ボランティアセンター ・市役所 等	4	・調べ方は児童に選択させ、個々の活動に応じて支援する。	◎テーマを決めるために、いろいろな方法で情報収集したり、施設訪問をしたりするなどの計画を立てることができる。（学習計画表、ポートフォリオ、訪問依頼）	

準備をしよう	深める ⑩	◎障害者や高齢者、生命に関わる仕事に従事している人との交流や仕事の体験、施設見学の準備をする。 ・目の見えない人と交流するには ・高齢者と交流するには ・自分たちが調べきれなかったことを質問にまとめる。 ・バス時刻や見学の予定を立てる。	6	・個々の課題が達成できるよう関係機関と連絡を取り、協力を得る。また、児童の活動に応じた支援をする。	◎テーマに沿っているいろいろな情報を集めたり、施設訪問などをしたりして、課題を解決できる。 (各時間や段階毎の自己評価、活動の様子)	
体験、見学しよう		◎障害者や高齢者、生命に関わる仕事に従事している人との交流や仕事の体験、施設見学を行う。 ・老人ホームでの交流、病院の見学 ・幼稚園や保育園での交流 ・警察署や消防署の見学 ・獣医や飼育係との交流 ・神父、住職との交流、斎場の見学 ・盲導犬ユーザー	4	・自分たちが調べたことを基にして、さらに深く知りたいことや体験したいこと、交流してみたいことを考えられる用にする。また、人々の生命への思いや命の輝きに気付けるようにする。	◎さらに課題を深く追究するために交流や体験、施設見学をしたいという意欲をもつことができる。(学習シート等) ◎調べたことを基にして、さらに深く知りたいことを質問にまとめることができる。 (ポートフォリオ、自己評価等)	
調べたことをまとめよう	まとめる ⑤	◎追究したことをもとに学習をまとめる。 ・学習したことをもとに模造紙にまとめる。 ・新聞を作る。 ・紙芝居を作る。等	5	・内容や方法によって個人またはグループのどちらでまとめをすべきか助言する。 ・写真等を効果的に活用させる。 ・お世話になった方々への礼状を書かせる。 ・他教科での学びを生かせるようにする。 (記事の書き方、まとめ方、図表の活用等)	◎調べて分かったことや考えたことを図や表などを使ってまとめることができる。(国語科との関連)(作品等)	
まとめたことを伝え合おう	伝える ②	◎まとめたことを交流し合い、学習を深める。 ・作品等をもとに話し合う。	2	・発表方法については、さまざま考え、自分の考えがより伝わりやすい方法を考えられるよう支援する。 ・話し合いの視点を明らかにする。	◎自分が立てた課題に対して、調べた内容をもとに自分の考えをもったり、友達の発表から考えを深めることができる。 (作品、学習シート、相互評価等)	
学習を振り返ろう	振り返る ①	◎学習を通して、感じたことを話し合う。 ・働いている人の思いや願いを知り、命を大切にしながらよりよく生きていくために必要なことを交流し合う。	1	・人と人が互いに助け合い、支え合っていくことで生きていくことができることに気付けるようにする。	◎生きていくためには自分だけではなく、他とのつながりが大切であることに気づき、日々の生活の中で人と豊かなかかわりをもつことができる。	

2 学 期	北海道の歴史や文化を見つめよう (地域) 【30時間】	単元のねらい ・函館の町や文化について触れたり、その他の地域について調べたりすることで北海道の歴史や文化を認識し、視野を広げることができる。					
	函館ってどんな町？	ふれる③	◎函館の町を知る。 ・函館市の資料を集める。 ・(パンフレット、インターネット、雑誌、本、卒業生や家族からの取材)	6	・修学旅行の函館での自主研修を通して、北海道の歴史や文化を感じるとともに、自分たちの力で自主研修をやり遂げることを意識付ける。	◎修学旅行で訪れる函館の町について興味や関心をもつことができる。	旅行者との打合せ、資料請求 (1学期中)
	自主研修のコースを考えよう	つかむ③	◎自主研修のコースを考える。 ・行ってみたい場所、道のり、体験できる場所、歴史的建造物、交通手段、費用、時間など	3	・テーマをもってコースを考えさせる。(建造物、文化、海外とのつながり等) ・子どもたちの立てた計画が実現できるよう道のりや時間について助言する。 ・一人一人がめあてをもって自主研修に臨めるよう、意識付ける。 ・グループ毎に協力して計画を立てたり、研修ができるように支援する。	◎進んで函館の町についての資料を集め、追究したい内容(文化)を決定できる。(自己評価) ◎自主的に計画を立て、見たり、聞いたり、触れたりしながら自分の視野を広げることができる。(学習シート)	
	課題を追究しよう	見通す②	◎調べる場所について集めた情報を整理する。	2			
	自主研修 ・インタビュー ・写真撮影 ・建造物の由来や歴史 ・現地での取材 …行事4h(修学旅行)						総合の扱い 事中7h
	北海道の他のまちの様子とくらべよう	深める⑥	◎テーマに沿って調べたことをまとめる。 ・計画に沿ってまとめる。 ◎テーマに沿って函館市とくらべる。 ・建造物、観光業、文化、水産業、歴史等	3	・自主研修のまとめをさせるとともに、他の町と比べられるよう支援する。 ・パソコン等も活用させる。	◎自分の課題を意識し、計画的に進めたり、修正したりしながら課題を解決できる。(各時間や段階毎の自己評価、学習シート等) ◎課題解決に向けて、必要な情報を選択し、整理、比較しながら学習を進めることができる。	写真データの活用
	情報を整理し、考えをまとめよう	まとめる⑬	◎情報の収集、選択をしながら、比較を通して課題解決する。 ・必要な情報の収集 ・情報の取捨選択 ・情報を基にした比較検討	7	・活動が多様になっていくので、個々の調査方法を把握する。 ・テーマに沿った比較ができるよう助言する。		
	学習報告会をしよう	伝える②	◎追究したことをもとに学習をまとめる。 ・学習したことをもとに模造紙にまとめる。 ・新聞を作る。 ・プレゼン資料を作る。 ・発表原稿を作る。	7	・内容や方法によって個人またはグループのどちらかでまとめをすべきか助言する。 ・写真等を効果的に活用するようにさせる。 ・他教科での学びを生かせるようにする。(記事の書き方、まとめ方、図表の活用等)	◎自分が調べたことを分かりやすく伝える方法を選び、まとめて表現することができる。(作品、発表物等)	
	学習報告会をしよう	伝える②	◎次年度、修学旅行に臨む5年生に向け、自分たちの学習した内容を報告する。 ・伝える内容を取捨選択する。 ・効果的な伝え方を考える。	1	・相手意識をもち、小集団での伝え合いや全体での伝え合い等、形態を工夫しながら会の進め方を考える。 ・発信の視点やテーマを明らかにする。	◎いろいろな表現方法から自分やグループの課題にあった方法を選び、発信することができる。(発表場面、学習シート等)	(準備) 5年生へ招待状・配付物の作成
	学習を振り返ろう	振り返る①	◎これまでの活動を振り返る。 ・これまでの活動から学習の仕方や考え方を振り返る。	1	・新しい知識だけではなく、学び方、考え方で成長が感じられるように振り返らせる。	◎自分が設定した課題に対して、調べた内容をもとに自分の考えをもったり、友達の発表から考えを深めたりすることができる。(学習シート、ふり返りカード等)	

3 学期	世界の子どもに目を向けて(国際理解) 【14時間】	単元のねらい ・外国や外国の人たちと直接的、間接的な交流を通して、地球的視野から地球上に「共に生きる人間」として、共に生きるということを理解するとともに自分の生き方をよくしていこうとする態度や能力を身に付ける。				
	世界の現状に目を向けよう	ふれる・つかむ	①	・個々の興味や関心が活かされるように一人一人に応じた支援をする。	◎世界の現状を知り、自分たちの生活と比べながら考えることで世界が抱える問題に興味や関心をもつことができる。(学習シート)	
	世界の現状を調べよう	②	①	・世界の現状をより深く考えられる対象に気付かせる。その中でも、子どもたちに着目させ、自分たちと比較しながら考えることができるようにする。	◎意見を交流する中で、世界の問題を自分のこととして受け止め、課題を決めることができる。(学習シート 等)	
	世界の現状を調べよう	見通す・深める	⑦	②	◎どんな情報を集めて発信するのか考える。 ・図書室の本 ・市立図書館の利用 ・インターネット ・新聞、テレビ ・市役所や関係機関	◎自分の課題に応じて、どのように情報を収集すればよいのか考えることができる。(学習シート、ポートフォリオ)
			⑦	⑤	◎情報を集めよう ・伝えたいことが分かるように、絵や写真などに記録しておく。	◎様々な方法から自分が知りたい情報を集めることができる。(学習シート、メモ)
	学習をまとめよう	まとめる	③	③	・伝える対象を意識してまとめられるように支援をする。	◎調べて分かったことや考えたことを図や表などを使ってまとめることができる。(国語科との関連) (作品等)
	パネル展を開こう	伝える	①	①	・共に地球に生きる仲間という考えに立ち、世界平和の実現や助け合おうとする心がもてるように言葉掛けをする。	
	学習を振り返ろう	振り返る	①	①	・振り返りの視点を明らかにし、活動を促す。	◎国際社会の一員として、世界の人々と共に生きていくための自分の生き方について考えることができる。(話し合いの様子、自己評価)